科目名	メディア総論Ⅰ			担当講師	明道　厚志
講師実務経験	放送番組制作プロダクション　ディレクター、プロデューサー　歴40年				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
前期	テレビ番組に携るための基本的な考え方や発想法、アウトプットの手法を通して メディアの概要を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	授業ガイダンス
2	4月28日	マスコミとマスメディアの違い
3	5月12日	時代で変わるメディアの種類・特徴
4	5月19日	自由に表現できるのがメディア？
5	5月26日	テレビ業界の収入と付加価値
6	6月9日	視聴率とは1
7	6月16日	視聴率とは2
8	6月23日	視聴率とは3
9	6月30日	誰が作るかで決まる番組の色と形式
10	7月7日	番組制作の流れ　企画から放送まで
11	7月14日	番組制作のスタッフと役割
12	7月28日	誰が作るかで決まる番組の色と形式
13	8月18日	テレビ番組制作事情　質疑応答
14	8月25日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にて配布
注意事項	28時間中　9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音響理論			担当講師	田苅子　和之
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース／	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	音に関する基礎知識をを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	授業ガイダンス
2	4月28日	音の伝達方式、音が伝わる仕組み、音の速さ、波形等
3	5月12日	音程とは何か。周波数、波長、可聴周波数帯域、オクターブ等
4	5月19日	音色とは何か。正弦波と倍音構成、音色変化の仕組み等
5	5月26日	共振、音質のコントロール、イコライザーについて
6	6月9日	音量とは何か。dB（デシベル）、音圧レベル、アンプ、ボリューム等
7	6月16日	様々な楽器の音量とその変化、エンベロープとその要素
8	6月23日	正相、逆相等
9	6月30日	音の性質
10	7月7日	室内での音の動き等
11	7月14日	音響心理とその効果。両耳受聴効果、ドップラー効果等
12	7月28日	カクテルパーティー効果等
13	8月18日	マスキング効果、ハース効果等
14	8月25日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	映像産業序論			担当講師	松野　拓行
講師実務経験	元ドラマ番組・映画プロデューサー/元札幌フィルムコミッション運営				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	9　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	多岐に渡る映像業界の仕事や職種、仕組みを学び、映像産業の中で客観的に自己分析する力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】	
1	4月21日	授業前ガイダンス	授業前にノートの取り方や心構えを知る。
2	4月28日	映像を学ぶ前の自分	今の自分が思う映像業界への先入観、好きな映像、作りたい映像、卒業までにどうなっていたいかなどを文章として残す。
3	5月12日	映像業界の仕事	映像業界の仕事や職種、映像が活かせる分野を知る。
4	5月19日	映像分野の基礎教養①	映像制作を進める上での基礎力を高める。
5	5月26日	映像分野の基礎教養②	映像制作を進める上での基礎力を高める。
6	6月9日	映像分野の基礎教養③	映像制作を進める上での基礎力を高める。
7	6月16日	専門用語と基礎知識	映像業界特有の用語だけでなく、社会人としての言い回しや日本語の使い方を学ぶ。
8	6月23日	自己分析と適正①	自分を客観的に見つめ、将来目指したい目標を見つける。
9	6月30日	自己分析と適正②	自分を客観的に見つめ、将来目指したい目標を見つける。
10			
11			
12			
13			
14			
15			

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各授業にてプリント配布の場合あり
注意事項	27時間中　10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	イベント概論			担当講師	横山　聡史
講師実務経験	広告代理店勤務を経てWEB企画制作会社設立。現在フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	イベントの知識と各スタッフの役割、企画・運営等の基礎を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	オリエンテーション／目標設定と様々なものに関心や興味を持つことの大切さについて
2	4月22日	イベントとは何か／イベントの定義と一般的な運営組織図
3	5月13日	イベントに関わるセクション／　1回目（ディレクター）
4	5月20日	イベントに関わるセクション／　2回目（PA・レコーディング）
5	5月27日	イベントに関わるセクション／　3回目（照明・映像）
6	6月10日	イベントに関わるセクション／　4回目（プロデューサー）
7	6月17日	イベントに関わるセクション／　5回目（主催者、後援、協力、協賛）
8	6月24日	イベントに関わるセクション／　6回目（MC）
9	7月8日	イベントに関わるセクション／　7回目（会場選定の条件、会場との折衝）
10	7月15日	イベントに関わるセクション／　8回目（イベントの広報）
11	7月22日	イベントに関わるセクション／　9回目（メディアとインターネット、各種SNS）
12	7月29日	イベントに関わるセクション／　10回目（メディアとインターネット、各種SNS）
13	8月19日	イベントに関わる心得／最低限必要な心得、プライオリティ
14	8月26日	総まとめ・テスト対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	電気基礎			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	電気の基礎及び電気を安全に取扱するための知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス
2	4月22日	基礎的な電気について　電流・電圧・抵抗
3	5月13日	直流と交流とオームの法則について
4	5月20日	直列・並列及び合成抵抗について
5	5月27日	単相2線式、周波数、実効値について
6	6月10日	電気容量計算、ジュールの法則について
7	6月17日	リアクタンス、インピーダンスについて
8	6月24日	有効電力、無効電力、皮相電力、力率について
9	7月8日	単相交流と三相交流について
10	7月15日	スター結線、デルタ結線について
11	7月22日	ランプ及びケーブルの種類、電線の許容電流、電気の安全な取り扱い
12	7月29日	電圧降下・電力損失、発電機からの電源
13	8月19日	複線図の書き方
14	8月26日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	安全概論			担当講師	久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	様々な作業に潜む危険を予測できるようになり、安全への意識を高め日本舞台技術安全協会の定める安全基準を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス
2	4月22日	安全衛生管理の基本を学ぶ
3	5月13日	現場における、事故事例の紹介（1）
4	5月20日	現場における、事故事例の紹介（2）
5	5月27日	作業に適した服装（靴、グローブ、衣服等）
6	6月10日	ヘルメット
7	6月17日	ラッシングベルト
8	6月24日	機材の運搬
9	7月8日	安全帯
10	7月15日	健康管理と日常生活他
11	7月22日	火気の使用他
12	7月29日	精神的な注意事項他
13	8月19日	始業時の打ち合わせ他
14	8月26日	落下、飛来落下、転倒、倒壊など危険を伴う作業他、定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	撮影基礎			担当講師	田端　優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	・ENGカメラの操作方法と、撮影の基本となるフィック撮り、パン、ズーム撮影などを修得する。 ・ロケ用の音声機材および照明機材の操作方法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス～ENGカメラの取り扱い方と注意点
2	4月22日	レンズ操作部の理解と映像の基本用語について
3	5月13日	手持ち撮影の基本テクニックについて①
4	5月20日	手持ち撮影の基本テクニックについて②
5	5月27日	三脚の取り扱い方と撮影方法
6	6月10日	実践テクニック①　～フィックス撮影～
7	6月17日	実践テクニック②　～フィックス撮影～
8	6月24日	実践テクニック③　～パン、ティルト撮影～
9	7月8日	実践テクニック④　～ズーム撮影～
10	7月15日	実践テクニック⑤　～トラック、ドリー撮影～
11	7月22日	シネマカメラの取り扱い方と注意点
12	7月29日	音声機材の取り扱い方と注意点
13	8月19日	照明機材の取り扱い方と注意点
14	8月26日	撮影基礎 総まとめ講座～定期試験対策
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にて資料配布
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	Adobe基礎			担当講師	水上　志乃
講師実務経験	経専学園を卒業した後、映像制作会社にてイベント系の撮影と編集業務に携わる。後、フリーランスとして活動中。				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	パソコンとPhotoshopの基本的な操作を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	オリエンテーション　／　PCの基本操作とタイピング練習
2	4月23日	Windowsの基本操作とショートカットキー
3	4月30日	ファイル管理とデータ圧縮　／　ファイル形式と解像度の基礎
4	5月14日	インターネットとクラウドストレージの活用
5	5月21日	画像・音楽・フォント等、素材のダウンロードと管理
6	5月28日	データの保存形式とバックアップ
7	6月11日	著作権とライセンスの基礎知識
8	6月18日	Photoshopの基本操作とレイヤーの概念
9	6月25日	選択ツールと画像編集の基礎
10	7月9日	デザイン基礎
11	7月23日	写真補正とフィルターの活用
12	7月30日	テキストデザインとレイヤースタイルの応用
13	8月20日	作品制作
14	8月27日	作品発表と振り返り　／　テスト対策
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)
	成績評価方法:B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にてプリント配布
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	コンテンツ研究			担当講師	松野　拓行
講師実務経験	元ドラマ番組・映画プロデューサー/元札幌フィルムコミッション運営				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	7　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	映像コンテンツを鑑賞することで映像技法や制作背景などを考察し、幅広い映像表現方法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	1.作品解説　2.作品鑑賞　3.作品講義
2	4月30日	1.作品解説　2.作品鑑賞　3.作品講義
3	5月21日	1.作品解説　2.作品鑑賞　3.作品講義
4	6月11日	1.作品解説　2.作品鑑賞　3.作品講義
5	6月25日	1.作品解説　2.作品鑑賞　3.作品講義
6	7月23日	1.作品解説　2.作品鑑賞　3.作品講義
7	8月20日	1.作品解説　2.作品鑑賞　3.作品講義
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にてプリント配布
注意事項	21時間中　8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	作品制作基礎			担当講師	髙橋　学
講師実務経験	角川映画勤務、マメゾウピクチャーズ代表、clapfilm LLP代表、ゆうばり国際映画祭理事、ゆうばりフィルムコミッション代表、あ・り一さだ理事、ケセランパセラン事務所代表				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	7　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	映像の作品制作・製作における基礎的な知識・技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月23日	ガイダンス、映像の基礎的な法則①について
2	5月14日	映像の基礎的な法則②について
3	5月28日	企画書の書き方、プレゼンテーションについて
4	6月18日	映像制作における知識・技術①
5	7月9日	映像制作における知識・技術②
6	7月30日	プリプロダクション全体について①
7	8月27日	プリプロダクション全体について②
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にてプリント配布
注意事項	21時間中　8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ペン字講座			担当講師	西山　香
講師実務経験	書道教室講師				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	演習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	履歴書作成と社会人生活に向けたきれいで美しい字の書き方を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	履歴書下書き
2	4月24日	ひらかな
3	5月8日	カタカナ
4	5月15日	漢字（横書・熟語）
5	5月22日	横書き文章
6	6月12日	札幌市・区名
7	6月19日	常用漢字付表①
8	6月26日	常用漢字付表②
9	7月10日	試験
10	7月17日	履歴書①
11	7月24日	履歴書②
12	8月21日	履歴書③
13	8月28日	履歴書④
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価
評価	評価 修得済
テキスト	プリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	舞台論			担当講師	笹出　将太
講師実務経験	照明デザイナー、オペレーター、舞台監督				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	劇場の歴史や舞台の基本的な知識および設備について修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス、
2	4月24日	西洋の上演芸術や劇場史について
3	5月8日	日本の上演芸術や劇場史について
4	5月15日	舞台の基本、平面・断面・寸法について
5	5月22日	幕類用吊物設備について
6	6月12日	照明用吊物設備について
7	6月19日	大道具用および音響反射板・スクリーンなどの吊物設備について
8	6月26日	舞台の床機構について
9	7月10日	舞台の照明設備について
10	7月17日	幕類・照明に関する専門用語について
11	7月24日	公演・舞台、機構・道具に関する専門用語について
12	8月21日	スタッフの種類と役割について
13	8月28日	安全管理および労働災害防止について/前期の総括および試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	就職ガイダンス			担当講師	一岡　永
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	就職活動を自発的に進めるための基礎知識を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業オリエンテーション、業界実習の説明
2	4月24日	働くという事について
3	5月8日	音楽放送業界の職業紹介
4	5月15日	基本的な就職活動の流れ
5	5月22日	自己分析と志望動機
6	6月12日	文章の作成方法について
7	6月19日	過去求人の紹介
8	6月26日	自己PR文章の作成について
9	7月10日	業界が求める人物像について
10	7月17日	就職支援サイトの説明/求人票の見方
11	7月24日	自由応募求人と学校推薦求人について
12	8月21日	志望動機の作成について
13	8月28日	就職活動計画の作成
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価
評価	評価 修得済
テキスト	就職便覧、プリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	照明工学			担当講師	竹平　耕一
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	1　学年	対象コース	ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	光の基礎知識や照明機器等について修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス、照明家の仕事について
2	4月24日	光の知識と眼とカメラの構造について
3	5月8日	物を見るときの生理的な働きについて
4	5月15日	光の単位について
5	5月22日	照明の演出・美的効果について
6	6月12日	モノトーン・立体感・遠近感の効果について
7	6月19日	色彩による効果、色彩の対比、白と黒との効果について
8	6月26日	色温度について
9	7月10日	照明器具の種類と構造について
10	7月17日	電球の種類と構造・特性・色調などについて
11	7月24日	調光機器の歴史や操作卓・調光器について
12	8月21日	カラーフィルターの歴史と種類、色温度変換・ディフィージョン・他のフィルターについて
13	8月28日	電源の種類と概要、仮設電源と注意点について　／　前期の総括および試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
テキスト	
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	TV照明基礎			担当講師	竹平　耕一
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	1　学年	対象コース	ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/総合コース	授業形態	講義/実習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
前期	テレビ照明の基礎知識およびスタジオ・現場の流れなどについて修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス　/　舞台とテレビの違い、舞台照明とテレビ照明の違い
2	4月24日	テレビ照明の基礎知識
3	5月8日	スタジオの構造と設備　/　副調整室の設備
4	5月15日	調光システムの基礎　/　調光卓について
5	5月22日	人物の基本的なライティング　Ⅰ　/　明りの役割、光の方向について
6	6月12日	人物の基本的なライティング　Ⅱ　/　光の方向と配分、光の質について
7	6月19日	テレビ照明の基礎知識　Ⅰ　/　フラットなライティング（1ショット）について
8	6月26日	テレビ照明の基礎知識　Ⅱ　/　スタジオ情報・報道番組など（2ショット以上）
9	7月10日	テレビ照明の基礎知識　Ⅲ　/　音楽番組など
10	7月17日	テレビ照明の基礎知識　Ⅳ　/　ドラマ番組など
11	7月24日	テレビ照明の基礎知識　Ⅴ　/　ロケーションなど
12	8月21日	テレビ照明の基礎知識　Ⅵ　/　取材など
13	8月28日	テレビ照明の基礎知識　Ⅵ/　各種中継番組など 前期の総括および試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	26時間中　9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	陸上特殊無線Ⅰ			担当講師	東峰康二
講師実務経験	映像制作会社　勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース /総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	5　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	国家資格　陸上特殊無線技士　2級を取得する為行う試験対策ゼミ。2期は無線の基礎知識と法規基礎中心に修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	7月7日	-ガイダンス- 無線のイロハを学ぶ。資格の必要性、合格基準を習得
2	7月14日	基礎・法規から学び①　電波／資格を理解する 2級陸條特殊無線技士の使用範囲(法規から学ぶ)　無線従事者とは?
3	7月28日	基礎・法規から学び②　無線の資格と設備を理解する 2級陸特の定義を学び、無線局の免許・設備
4	8月18日	基礎・法規から学ぶ③ 電波の形式　電波の分類
5	8月25日	基礎・法規、工学①(アンテナの必要性を学ぶ) アンテナ及び衛星中継／定期試験対策
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	無線従事者養成課程標準教科書　法規／無線工学、各回授業にてプリント配布
注意事項	15時間中　6時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	編集基礎			担当講師	岡　宏樹
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース /総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	6　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	映像編集の基礎とAdobe Premiere Proの基本操作を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	7月4日	授業ガイダンス Premiere Proを用いた映像編集①（プロジェクトの作成、素材の取り込み、編集ツール）
2	7月11日	Premiere Proを用いた映像編集②（カット編集）
3	7月18日	Premiere Proを用いた映像編集③（エフェクト、トランジション）
4	7月25日	Premiere Proを用いた映像編集④（カラーコレクション、テロップ）
5	8月22日	Premiere Proを用いた映像編集⑤（MA、エンコード）
6	8月29日	試験対策

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業にてプリント配布
注意事項	18時間中　7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習			担当講師	久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱い を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	オリエンテーション、ケーブル巻き
2	5月16日 5月23日 6月13日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い
3	6月20日 6月27日	PAセットを組んで音を出してみる。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	REC実習			担当講師	金沢　琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	授業選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	レコーディングスタジオの基本を修得

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	スタジオワークの紹介
2	5月16日 5月23日 6月13日	マイクセッテイング（ドラムセット）
3	6月20日 6月27日	ミックス素材を使ってのデモミックス
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	各回授業にて配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	文書デザイン			担当講師	近藤　直美
講師実務経験	パソコントレーナー歴28年				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Wordの有効な利用を通して、文書デザイン能力を取得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス、PC操作、キーボード入力練習、ワードの基本的な操作、文書作成
2	5月16日 5月23日 6月13日	Wordによるビジネス文書・デザイン文書の作成 ビジネス文書の決まりを学ぶ。 文字装飾、表や図の挿入を学ぶ。
3	6月20日 6月27日	Wordによるデザイン文書の作成 Wordの様々な機能を生かした、デザイン文書の作成を学ぶ。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	照明実習			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	授業選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種との関わりを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス。照明の役割と、音楽と照明について
2	5月16日 5月23日 6月13日	仕込みからシュートまでについて
3	6月20日 6月27日	オペレートについて
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	テレビ番組制作			担当講師	田端　優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的な知識と技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス～番組制作の現場について
2	5月16日 5月23日 6月13日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について
3	6月20日 6月27日	テレビスタジオで番組の収録を行う
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	授業にて資料配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ヴォーカル実習（選択）			担当講師	宍戸美鈴
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	発声法基礎（高音域・低音・中音域）　歌唱法（ミックスボイス）
2	5月16日 5月23日 6月13日	発声法基礎（高音域・低音・中音域）　歌唱法（ビブラート）
3	6月20日 6月27日	発声法基礎（高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴）
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ギター実習（選択）			担当講師	小松　チホコ	
講師実務経験	箱バンでのギター演奏９年、自身のバンド活動約15年					
対象学年	1　学年	対象コース	選択者		授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間		135　分

期	修　得　目　標
前期	ギター演奏の基本技術と知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ
2	5月16日 5月23日 6月13日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲
3	6月20日 6月27日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ベース実習（選択）			担当講師	木村　圭子
講師実務経験	ベーシスト				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	ベースの役割を学び、基礎スキルを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	BASSという楽器について（基本フォーム・運指トレーニング）
2	5月16日 5月23日 6月13日	2finger奏法基礎　8feel groove　課題曲
3	6月20日 6月27日	Slap奏法基礎　16feel feel groove 課題曲
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ドラム実習（選択）			担当講師	岸林　大輔
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Dr,Set,及びリズムの基礎を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	Stick Control&Foot リズムスタイル
2	5月16日 5月23日 6月13日	リズムスタイル#2、Fill-In
3	6月20日 6月27日	リズムスタイル#3、エチュード、まとめ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	DTM実習（選択）			担当講師	中村　未央
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	Cubaseの基本操作1
2	5月16日 5月23日 6月13日	Cubaseの基本操作2
3	6月20日 6月27日	Cubaseの基本操作3
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）